

# 第2次香取市生涯スポーツ推進計画 (素案)

平成30～34年度



平成30年6月

香取市教育委員会

# 目 次

## 【第1章】香取市生涯スポーツ推進計画の基本的事項

- (1) 策定の趣旨 . . . . . 1
- (2) 計画の位置づけ . . . . . 2
- (3) 計画の期間 . . . . . 3
- (4) 計画の基本理念 . . . . . 3

## 【第2章】計画推進のための具体的事項

### 基本方針1 豊かなスポーツライフの実現

- (1) 子どものスポーツ活動の充実 . . . . . 3
- (2) 生涯スポーツの推進 . . . . . 5
- (3) 高齢者・障がいのある人のスポーツ推進 . . . . . 6
- (4) スポーツ団体の支援 . . . . . 8
- (5) 水上スポーツ等の推進 . . . . . 8

### 基本方針2 スポーツ活動の環境整備

- (1) 総合型地域スポーツクラブの育成 . . . . . 10
- (2) スポーツボランティア・指導者の育成 . . . . . 10
- (3) スポーツ施設の整備充実 . . . . . 11

### 基本方針3 競技スポーツの推進

- (1) トップアスリートによる講演会等の開催 . . . . . 12
- (2) スポーツ優秀選手への表彰制度・派遣費の充実 . . . . . 13

## 【第1章】香取市生涯スポーツ推進計画の基本的事項

### (1) 策定の趣旨

スポーツは、全ての人々に大きな感動や楽しみ、活力をもたらすものであり、言語や生活習慣を超え、人類が協働して発展させてきた世界共通の文化の一つであるとともに、人格の形成、体力の向上、健康長寿の礎であり、明るく豊かで活力に満ちた社会形成にも貢献するものです。

本市においては、平成25年6月に、概ね5年間を見通して「香取市生涯スポーツ推進計画」を策定し、「市民主体のスポーツ活動の振興」を目指して、市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより心身ともに健康で活力ある生活を送れるよう、「豊かなスポーツライフの実現」「総合型地域スポーツクラブの育成」「競技スポーツの振興」の3つの柱を設け具体的な施策を展開してきました。

しかしその間も、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、子どもの体力低下や高齢化の進展、さらには、人と人とのつながりの希薄化などの問題が顕在化してきました。これらの問題解決の手がかりとして、市民のスポーツに対する期待はますます高まるなか、国が推し進める「働き方改革」により、増加する余暇時間を運動やスポーツに親しめる環境づくりが必要になってきています。

また、平成25年9月には、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「2020年東京大会」という。）の東京開催が決定し、「国際公約としてのスポーツによる国際貢献の実施」、「国民全体へのオリンピズムの普及」、「我が国の競技力向上」及び「健常者・障がい者スポーツの一体的な推進」等、開催国としての役割が求められることとなり、「スポーツの価値」が大きく見直されようとしています。

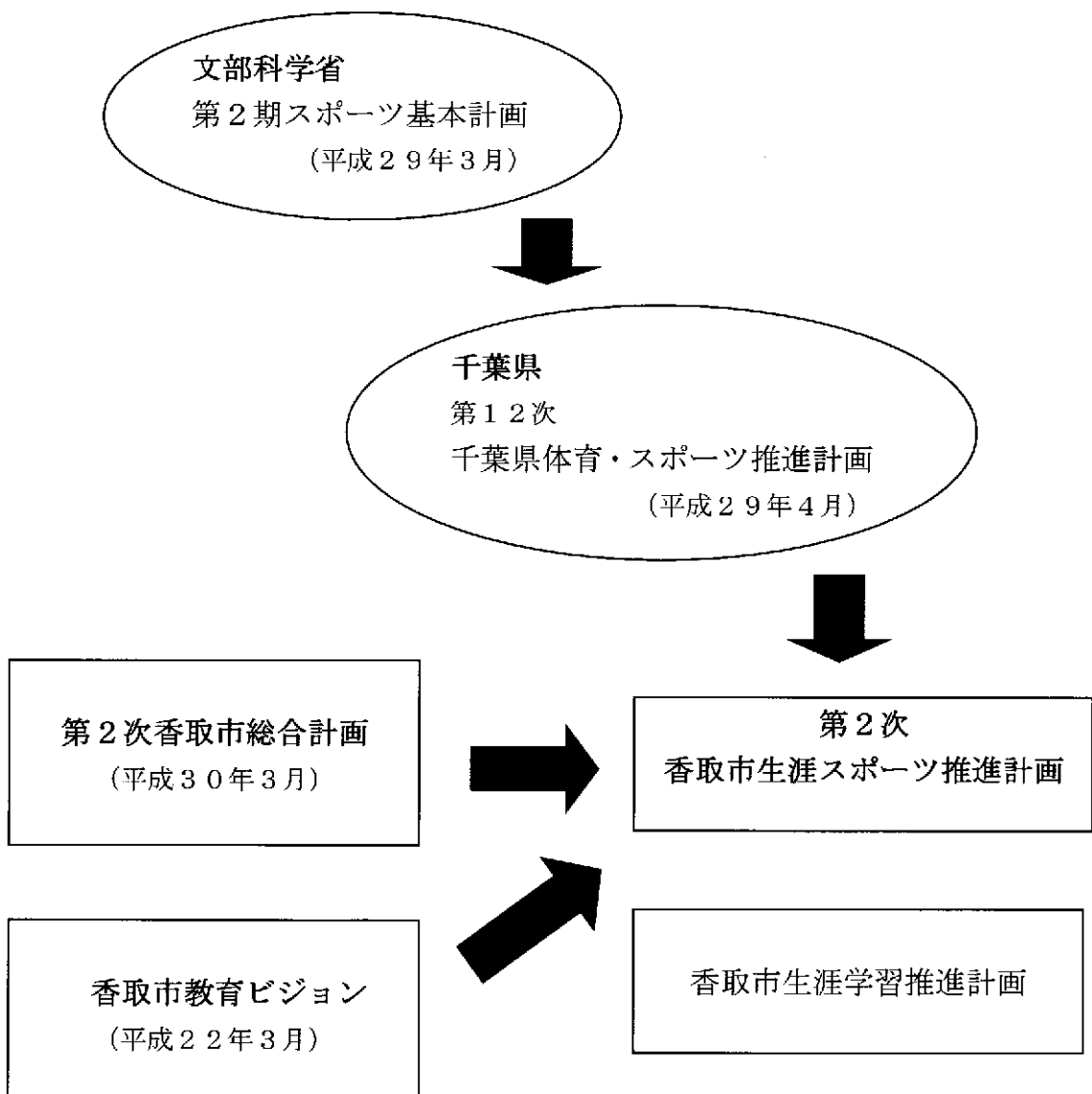
国では、平成29年3月に第2期スポーツ基本計画が策定され、千葉県においても、平成29年4月にスポーツ立県ちばの一層の推進を目指して、第12次千葉県体育・スポーツ推進計画が策定されました。

以上のことから、本市においても現計画を踏まえ、新たに策定された国・県の計画を参考にし「第2次香取市生涯スポーツ推進計画」を策定するものです。

## (2) 計画の位置づけ

この計画は、スポーツ基本法に基づく「スポーツ基本計画」に掲げられている「一億総スポーツ社会」の実現を踏まえ、また「第2次香取市総合計画 豊かな暮らしを育む歴史文化・自然の郷香取～人が輝き人が集うまち～」に示している教育・文化の推進分野の施策をより具体化するものとして位置付けます。

また、平成22年3月に策定された「香取市教育ビジョン～ひとをつなぎ、未来をひらく」とともに、スポーツ振興のための基本的な方策、生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備を推進するための基本方針とします。



### (3) 計画の期間

計画の期間は、第2次香取市総合計画（平成30年3月策定）との整合を図るため、平成30年度から34年度までの5年間とします。今後の社会情勢の変化などで計画の見直しが必要な事項等が生じた場合は、必要に応じて見直すこととします。

### (4) 計画の基本理念

本市のスポーツのあるべき姿を展望し、スポーツを「する」ことはもちろん、「観る」「支える」といった様々な形でスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かちあいながら、健康で活力ある生活を送ることができるまちづくりを目指します。

## 【第2章】計画推進のための具体的事項

### 基本方針1 豊かなスポーツライフの実現

市民がスポーツを通して主体的に健康づくりに取り組めるよう、スポーツ団体等への支援や高齢者・障がいのある人のスポーツ推進を図るとともに、スポーツ活動の活発化を図るため、各種スポーツ団体の支援を行います。

また、子どもの体力向上については、体力テスト全項目のレベルアップを目標に指導体制の充実を図ります。

#### (1) 子どものスポーツ活動の充実

子どものスポーツ機会の充実を目指し、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境の整備を図ります。

また、健康教育、学校体育の充実を図るとともに、望ましい生活習慣づくりと食に関する指導を関係機関と連携をとりながら、その充実を図ります。

##### ① 現状と課題

近年、運動する子どもとしない子どもの二極化、またそのことによる体力の二分化傾向がみられ、児童生徒の体力・運動能力の低下が課題となっています。市内小中学校における体力・運動能力調査結果では、中学生は県平均値に比べ高く、小学生については県平均値より低い傾向にあります。これは、市内のほとんどの小学校が運動能力調査を5月から6月に実施していることに対し、他地域は10月から11月に実施している学校が多いことが原因のひとつと言えます。千葉県教育委員会で公表している「Tスコア」（偏差値）の数値と比較すると県平均レベルであることから、より正確な児童生徒の実

態を踏まえるためにも、実施時期の検討及び「Tスコア」の活用等の課題を解決していくことが大切です。また、今後予定されている小中学校の統廃合によりスクールバスの利用が増加していくなか、体を動かす機会が減少し、体力の低下が懸念されます。このことから、児童生徒の体力向上を図るためのスポーツ環境の整備が必要です。

② 取組の方向性

児童生徒の発達段階に応じ、一人ひとりが能力や適性を伸ばすことに重点を置き、生涯にわたってスポーツに親しむことができる心身の基礎づくり、体力や運動能力の向上を図ります。

③ 具体的な取組

本市における「児童生徒の体力・運動能力調査」の結果を注視し、子どもの体力や運動能力を向上させるため、さまざまな運動にチャレンジできる機会を提供し、学校・家庭・地域が一体となって、運動・スポーツにふれあう環境づくりの充実を図ります。

また、子どもらしい生活習慣を身につけさせ、生活のリズムを規則正しくするための取組の充実を図ります。

平成28年度体力・運動能力調査結果（県平均対比）

小学生

男子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（秒）	11.13	11.78	10.39	10.69	9.93	10.45
	立ち幅とび（cm）	118.01	112.03	129.41	125.33	138.36	133.43
	ソフトボール投げ（m）	9.31	7.89	12.61	11.82	16.04	13.78

小学生

女子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（秒）	11.41	11.92	10.73	11.09	10.21	10.60
	立ち幅とび（cm）	111.13	107.56	121.81	118.97	132.12	127.76
	ソフトボール投げ（m）	6.36	5.96	8.22	7.67	10.06	9.29

小学生

男子	学年	4年生		5年生		6年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走（秒）	9.47	11.03	9.06	9.38	8.60	8.93
	立ち幅とび（cm）	148.17	138.19	159.18	154.88	172.47	165.13
	ソフトボール投げ（m）	19.87	21.53	23.15	21.63	27.17	23.41

## 小学生

女子	学年	4年生		5年生		6年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走(秒)	9.75	10.11	9.30	9.43	8.94	9.16
	立ち幅とび(cm)	142.01	137.70	153.98	153.06	162.53	159.33
	ソフトボール投げ(m)	12.30	11.41	14.55	14.79	16.75	16.21

## 中学生

男子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走(秒)	8.64	8.38	7.77	7.74	7.38	7.40
	立ち幅とび(cm)	179.52	180.89	198.18	197.66	213.26	211.05
	ハンドボール投げ(m)	17.15	19.04	20.55	22.14	23.51	25.62

## 中学生

女子	学年	1年生		2年生		3年生	
	種目	県平均	市平均	県平均	市平均	県平均	市平均
	50m走(秒)	8.92	8.88	8.59	8.64	8.52	8.64
	立ち幅とび(cm)	165.61	164.10	173.08	172.19	176.37	175.63
	ハンドボール投(m)	11.51	12.64	13.12	14.89	14.16	15.84

## (2) 生涯スポーツの推進

スポーツを通じ生涯にわたって心身ともに豊かで健康な生活の実現を目指し、市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツを楽しむことができる環境の整備を図ります。

### ① 現状と課題

市民の約半数の方は運動・スポーツに取り組んでいます。しかし、その目的は、年齢に応じて球技等の楽しむスポーツから、健康を維持増進するスポーツ等へ変化しており、生涯スポーツの推進に対する市民の要望は多様化しています。特に若い年齢層の運動不足が目立っており、生涯を通じた健康づくりのためには、こうした世代が日頃から気軽に運動・スポーツを実践できる場を充実させ、生活習慣病の予防や医療費抑制に繋げることが重要です。今後は、市民がこうした場や施設を利用しやすいよう、利用手続きの簡素化やインセンティブを付与するなど運動・スポーツの推進を図る施策が必要です。

## ② 取組の方向性

生涯スポーツ活動への参加を促すため、それぞれの年齢、志向、体力に合った長く親しめるスポーツ教室やスポーツ・レクリエーション行事の充実をはじめ、スポーツに関する情報の提供を促進します。

## ③ 具体的な取組

市民がスポーツに親しみ生涯にわたってスポーツを通じて心身の健康とスポーツの楽しさを体験できるスポーツの普及・啓発に努めます。

また、本市の歴史・文化・観光資源を活用したウォーキングコース等の設定、体操やストレッチ、エアロビクス、ヨガなど気軽に行えるスポーツ教室を開催し、若い年齢層が運動・スポーツ活動へ自主的に参加しやすい環境を充実させます。

## (3) 高齢者・障がいのある人のスポーツ推進

健康づくりの観点から関係機関と連携し、高齢者・障がいのある人がスポーツ活動などへ気軽に参加できる環境づくりの推進を図ります。

### ① 現状と課題

本市の高齢者人口は、平成30年4月1日現在、26,609人であり、高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、34.3%です。

今後、更に高齢化が進み、平成32年には高齢者人口は26,781人と急増し、高齢化率は、37.3%となる見込みです。

このことから、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツや運動ができるための環境整備が必要です。

### ② 取組の方向性

高齢者・障がいのある人とともに参加できるスポーツ・レクリエーションイベントなどのサークル活動を促進し、運動やスポーツを通じた交流活動の推進を図ります。

### ③ 具体的な取組

高齢者・障がいのある人でも、無理なく安心して運動やスポーツ活動を行うことができるよう、スポーツ施設の整備など環境づくりを進めます。

また、健常者と障がい者が一緒になり、同じ場でスポーツを楽しむインクルーシブ（機会均等）スポーツのさらなる振興のためにも、障がいのある人のスポーツ指導者については、障がいのある人がいつでも、どこでもその特性に応じたスポーツ指導を受けられるよう、指導者講習会や研修会の充実及び指導者の養成・確保と地域への定着を図ります。

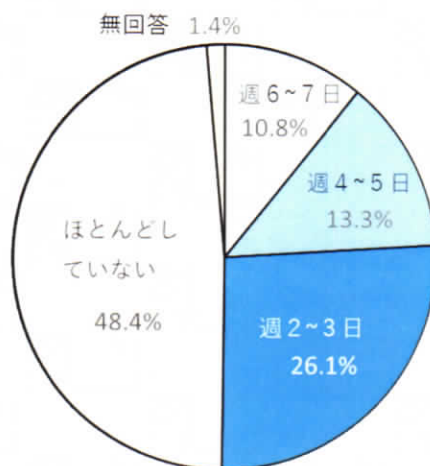


## 香取市第2次健康増進計画調査結果（平成28年11月）

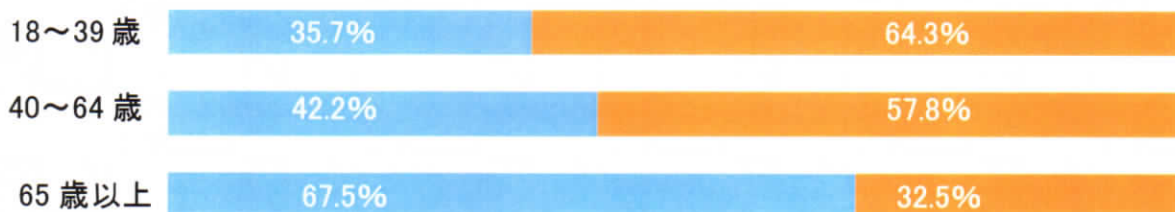
■ 調査項目：1日30分以上、身体を動かしたり運動をしていますか？

■ 調査対象：一般（18歳以上） 回答数：640人

「週6～7日」が10.8%、「週4～5日」が13.3%、「週2～3日」が26.1%となっており、合わせて〈している〉は50.2%を占めています。一方、「ほとんどしていない」は48.4%です。



「1日30分以上の運動を週2回以上、身体を動かしたり運動をしている」人を年齢別に比較すると「18～39歳」で35.7%、「40～64歳」で42.2%と半数以下となっている一方、「65歳以上」は67.5%と高くなっています。



■ 1日30分以上の運動を週2回以上、身体を動かしたり運動している。

■ ほとんどしていない。

### 目標値

指標	対象	現状値	目標値
1日30分以上の運動を週2回以上している。	18～39歳	35.7%	40.7%
	40～64歳	42.2%	47.2%

#### (4) スポーツ団体の支援

香取市体育協会、香取市スポーツ少年団などによるスポーツ活動の活性化を図るため、各種団体への支援を行います。

##### ① 現状と課題

香取市体育協会については、平成30年3月に旧市町単位で活動していた支部制を廃止し、組織改革及び事業の一本化を図りましたが、事務業務については市が携わっている業務が多く、事務を担う人材の育成が必要です。

また、スポーツ少年団については、地域における主導的な役割のほか、学校現場での働き方改革などによって、その担う責務は重要となっており、青少年健全育成及びスポーツ活動の安全性の観点からも、指導者の育成が重要です。

##### ② 取組の方向性

各団体の自主自立と組織強化が図られるよう支援を行います。

##### ③ 具体的な取組

地域におけるスポーツ団体の普及と強化が図れるよう支援するとともに、指導者などの人材の育成や必要に応じて助言を行い、関係諸団体間の連携や行政との協働にあたり、その調整を図ります。

#### (5) 水上スポーツ等の推進

地域の特性を活かした水上スポーツや香取小江戸マラソン大会などの特色あるスポーツ大会を全国に情報発信し、市の活性化を図ります。

##### ① 現状と課題

水上スポーツについては、毎年7月に黒部川で開催しております「香取市民レガッタ」をはじめ、カヌー、ボート、水上スキーなどの大会が年間を通じて行われています。

また、「香取小江戸マラソン大会」については、歴史的な町並みを走るコースや地元の温かい対応など魅力ある大会として全国のランナーに人気があり、毎年、参加者が増えています。今後は、マラソン大会として更に知名度を上げ、本市の文化・観光振興にも繋がるような、魅力的な大会を目指します。

##### ② 取組の方向性

「香取市民レガッタ」や「香取小江戸マラソン大会」の2大大会を核にして、香取の魅力を全国に情報発信することにより、水上スポーツのまちとする賑わいを創出するとともに地域の活性化を図ります。

### ③ 具体的な取組

「香取市民レガッタ」会場である黒部川及び周辺施設をカヌー・ボート・水上スキーなどの全国規模の大会や企業等の合宿地としての誘致活動を行い、水上スポーツのメッカとして「水郷おみがわ」を全国に情報発信するとともに、日本遺産「北総四都市江戸紀行」に認定された香取神宮や佐原の町並みなどを走る「香取小江戸マラソン大会」を通し、伝統と歴史がいきづく街として、香取市の魅力を全国に発信します。

また、「香取市民レガッタ」や「香取小江戸マラソン大会」の開催には、ボランティアの協力が必要なことから、市民の「みるスポーツ」・「するスポーツ」・「ささえるスポーツ」のそれぞれの機会を提供するスポーツイベントとして、今後の在り方を検討します。



【香取市民レガッタ】



【香取小江戸マラソン大会】

## 基本方針2 スポーツ活動の環境整備

市民のスポーツ活動を推進するため、総合型地域スポーツクラブやスポーツボランティア・指導者の育成を図るとともに、点在する既存施設の基盤整備の充実を図り、不足する施設の整備や総合的なスポーツ施設「総合運動公園」のあり方について検討を進めます。

### (1) 総合型地域スポーツクラブの育成

地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの設立を促進し、その育成を図ります。

#### ① 現状と課題

現在、佐原地区において総合型地域スポーツクラブ「ふれあいスポーツ佐原」が設立され、生涯にわたり誰もが、自分自身のライフスタイルに合わせて継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを目指して、地域住民が自主的に取り組んでいます。

スポーツの行事などで求める内容は、それぞれのライフステージに応じて異なることから、誰もが気軽に、楽しく、様々なスポーツに親しめる機会を提供している総合型地域スポーツクラブの創設を促進するとともに、既存のクラブを育成・支援し、地域の中に、新たなスポーツ文化を構築していくことが必要です。

#### ② 取組の方向性

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツに取り組むことができる、地域の特色を活かした総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

#### ③ 具体的な取組

総合型地域スポーツクラブの円滑な運営に必要な熱意と知識・技術を有する人材の育成・確保のために、研修会等の情報を提供し、活動拠点となる施設を所管する部署等への理解を促し、それらとの連携を図ります。

### (2) スポーツボランティア・指導者の育成

市民がスタッフとして大会やイベントに参加できる体制づくりを進め、スポーツボランティアを育成するとともに、スポーツボランティア登録制度の創設を図ります。また、公認スポーツ指導者や障がいのある人のスポーツ指導者については、指導者講習会や研修会を実施し、指導者の養成を図ります。

### ① 現状と課題

教育委員会から委嘱されたスポーツ推進委員や水上スポーツ指導員は、市民のスポーツ活動の支援を担うスポーツボランティアとして活動しています。その活動内容は、市民やスポーツ団体の要請に応じて行うもの、市などの事業に協力するものなどがあります。

今後、市民のスポーツニーズの拡大やスポーツ環境の変化に対応した新しい視点でのスポーツ指導者の充実が課題となっています。

### ② 取組の方向性

多様化するスポーツニーズに対応し、対象者のレベルに応じた理想的な指導が行われるよう、各種スポーツ団体などと連携して、高い指導技術や幅広い知識、実技技能を有するスポーツ指導者の育成・確保と地域への定着を図ります。

### ③ 具体的な取組

各種スポーツ団体などに働き掛け、指導者講習会や研修会などの機会を通じて、指導者の支援を行います。

また、スポーツボランティア登録制度を構築するとともに、その活用が図れるよう幅広く制度の周知を図ります。

## (3) スポーツ施設の整備充実

生涯スポーツの推進を図り、市民が「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめるよう、スポーツ施設の整備充実に取り組みます。

### ① 現状と課題

本市のスポーツ施設は、香取市民体育館や小見川スポーツ・コミュニティセンターなど21の施設があり、広く市民に身近なスポーツ施設として利用されています。

しかしながら、多くの施設は老朽化しており、幅広い市民が安全で利用しやすい施設とするための改修工事のほか、未だ整備されていない武道競技関連施設等の整備が求められています。

### ② 取組の方向性

このような状況を踏まえ、利用者の安全性の確保や利便性の向上を図るため、施設の計画的改修・整備を行うとともに、スポーツに関するさまざまな情報の積極的な発信等、施設の効果的な活用方法を検討します。

### ③ 具体的な取組

既存施設の有効活用を図り、計画的・効率的な施設の基盤整備・運営を行うとともに、施設が未整備のため、県や他市町の施設で大会等を開催している、武道競技関連施設の整備を含め、「総合運動公園」のあり方についての検

討を進めます。

また、高齢者・障がいのある人等、誰もが利用しやすい施設を目指し、施設のバリアフリー化をはじめ、案内や表示の工夫など、人にやさしい施設づくりに取り組みます。



### 基本方針3 競技スポーツの推進

競技スポーツの推進を図るため、市民、特に子どもたちがスポーツへの憧れを抱いたり、スポーツの生み出す大きな感動・興奮を感じる機会の充実を図ります。

#### (1) トップアスリートによる講演会等の開催

トップアスリート（国体優勝者等）によるレベルの高い講演会及びスポーツ教室等を開催します。

##### ① 現状と課題

国民体育大会及び国際大会でボート、カヌー、馬術等で優秀な成績を収めたトップアスリートが数多く、これらは本市にとって貴重なスポーツ資源ですが、直接的に子どもたちとふれあい、スポーツの楽しさ・醍醐味を伝える活動や指導の場が少ない状況です。

##### ② 取組の方向性

子どもたちにスポーツの生み出す大きな感動を与えられるような機会の充実を図ります。

##### ③ 具体的な取組

学校等に出向き、トップアスリートによる講演会・スポーツ教室等を開催します。

また、2020年東京大会に「ボート競技の事前キャンプ」を誘致し、水上スポーツの合宿地として全国に情報発信するとともに、世界で活躍するトップアスリートと子どもたちとのふれあいの場を提供します。

## (2) スポーツ優秀選手への表彰制度・派遣費の充実

スポーツ優秀選手に対する表彰制度、派遣費の整備を図ります。

### ① 現状と課題

本市において、次項掲載のとおり、国民体育大会などで好成績を収めた優秀選手が数多くおります。

《平成27年度》

・第70回国民体育大会 カヌースプリント男子カナディアンシングル500m【優勝】 男子カナディアンシングル200m【優勝】 馬術競技成年男子六段障害飛越競技【優勝】・全国高等学校総合体育大会 カヌースプリント男子カナディアンシングル500m【優勝】 ・第31回東日本女子駅伝大会優勝【第8区間優勝】

《平成28年度》

・第71回国民体育大会カヌースプリント少年男子カナディアンペア500m【優勝】 ・全国高等学校総合体育大会 カヌースプリント男子カナディアンシングル500m【優勝】 男子カナディアンシングル200m【優勝】 ボート男子ダブルスカル【優勝】・JOCジュニアオリンピック全国中学生カヌー大会カヌースプリント【優勝】 女子カヤックシングル【優勝】 女子カヤックペア【優勝】 女子カヤックフォア【優勝】

《平成29年度》

・第72回国民体育大会カヌースプリント少年カナディアンシングル500m【優勝】・第8回林和男旗杯国際野球大会【優勝】

競技スポーツを奨励するため、トップアスリートの育成を支援するとともに、競技者がスポーツ活動に邁進できるような環境整備が必要です。

### ② 取組の方向性

スポーツの推進を図るため、スポーツ優秀選手に対する表彰制度・派遣費の周知を図るとともに、トップアスリートによる講演会やスポーツ教室を開催します。

### ③ 具体的な取組

競技スポーツの推進を図るため、優秀選手への表彰、派遣費の提供などを充実させると共に、千葉県民体育大会や東部五市体育大会など各種大会への積極的な支援のほか、各競技団体との指導・育成体制の連携を強化し、競技力の向上を図ります。

また、各地域で開催している各種のスポーツ活動等について取り上げ、広く市民に紹介します。